

【科研費応募支援ニュースレターNo.10】 発信日 230927 (水)  
タイトル\_科研費申請書の書き方：様式点検

教育職員各位

URA 高木敦子

いつもお世話になり、感謝申し上げます。お久しぶりです。URAの高木敦子です。  
8月28日の科研費申請の学内提出締め切り、そして、9月19日の学振の締め切りが  
終わりました。皆様のご協力により、無事、学振への提出ができ、ありがとうございました。  
ました。

ウェブに提出いただきました申請書の第1版に対して、「様式点検」が行われました。  
産研事務室 事務長補佐の主導のもと、事務長はじめ、科研担当者のみならず、  
個研担当者、学内研担当者も加わり行われました。

今回のニュースレターでは、「様式点検」の中で、よくあった間違い、記載不足等につ  
いて、次回の申請書作成に向けてのご参考まで、箇条書きにて、書かせていただき  
ます。

<全体>

- (01) 前年度の様式を使用されていることがあります。今年度の様式かどうかを簡単  
に見分けるには、基盤Cの申請書でしたら、8頁の「研究計画最終年度前年度  
応募を行う場合の記述事項」の「研究期間」のところが、今回でしたら、「令  
和 年度～令和6年度」となっていますが、前年度の様式では「令和 年度～  
令和5年度」となっていますので、これをご確認ください。枠内の細かい字の  
部分が一部変わっている可能性もありますので、必ず正しい年度の様式をダウ  
ンロードしてご使用下さい。
- (02) エフォートに関する誤解もありました。エフォートの定義は、教育、研究、  
学内外でのその他のお仕事など、先生のお仕事すべての中での、申請いただ  
いた科研費の研究に充てる時間のパーセントです。先生が行われている全研究の  
内の科研費の研究のパーセントではありません。
- (03) 作成途中でページ数を増減させると元に戻した際にヘッダーが崩れる原因にな  
りますのでご注意ください。提出前にはヘッダー等の崩れがないか、学振の様  
式のPDFファイルでご確認をお願い致します。
- (04) 「表記のゆれ」は統一される方がいいです。  
「、」と「,」の混合やカタカナの全角と半角の混合など。  
同じものを示す名称などをいろいろな言葉で示す。  
同じ言葉を平仮名や漢字で示す。等
- (05) 基盤B、基盤C、若手、挑戦的研究等はまだ、カラー化されていません。

グレースケール印刷された状態で審査に供されるため、グレースケールでの図・画像・文字の視認性を確認してください。いったんは印刷してみてください。特に色分けで表現されている図表について、ご注意ください。

- (06) 余白を超えて図表が配置されていることがあります。様式の余白は、上 20mm、下 20mm、左 25mm、右 25mm で設定されていますので、ご注意下さい。

<研究目的、研究方法など>

- (07) 本文には以下の項目を記載することとなっております。
- (1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」
  - (2)本研究の目的および学術的独自性と創造性
  - (3)本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ
  - (4)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか
  - (5)本研究の目的を達成するための準備状況
- 審査委員にストレスをあたえないために、それぞれの項目タイトルをそのままご使用いただき、順番も変えずに、過不足なくご記載いただく方がいいかと思えます。

<人権の保護及び法令等の遵守への対応>

- (08) 記載いただく場合には、"規程名と委員会名を正式名称にて、ご記載をお願い致します。
- 規程名：『大阪産業大学「人を対象とする研究」倫理規程』  
委員会名：研究倫理審査委員会"

<研究経費とその必要性>

- (09) 経費に計上されている備品費や人件費、ソフトウェアなどが本文の研究計画の中にどのように使われるかの対応する記載がないことがあります。
- (10) 本学の規程においては、「1件又は1組の購入価格が税込10万円以上かつ耐用年数1年以上の物品」は「設備備品費」となっています。
- (11) 機器・パソコン等の設備備品費はメーカー、型番など参考になるものをできる範囲でご記入下さい。
- (12) 出張旅費では、場所、日数、人数、回数などの情報の記載も必要です。2年先の学会などでは場所が未定と思われるので、その場合は「場所未定」で結構です。たとえば「東京を想定して経費を算出した」等経費の必要性のところに記載いただくとより良いです。  
学会に関連する旅費については、学会名称もご記載下さい。

- (13) 本学の規程において、書籍の扱いにつきまして、「図書」は「1冊又は1組の価格が税込5万円以上のもの」となっており、1冊又は1組の価格が税込5万円未満の図書につきましては、消耗品費の扱いとなります。
- (14) 学会参加費は「その他」に該当します。
- (15) コピー代は「その他」に該当します。
- (16) 本学の規程において、ソフトウェア類は消耗品費の扱いとなります。
- (17) 短時間労働者の時給はそのときの取り決めをご確認いただき、最新の価格をご記入下さい。
- (18) 研究費の応募・受入等の状況（1）応募中の研究費  
「2024年度の研究経費（期間全体の額）」  
期間全体の額は、「期間全体で自ら使用する額」を入力することになっていますので、研究分担者がいない場合には、期間全体の総額を入力してください。研究分担者がいる場合の「期間全体の額」は、研究分担者が使用する額を差し引いた、研究代表者が補助事業期間全体で使用する経費の合計金額になります。
- (19) 国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記入することとなっていますので、現時点において令和6年度に受入れが予定されている研究費があればご入力ください。

以上のことが頻繁に見受けられました。

次回の申請の時にご留意いただけましたら幸甚でございます。

本学 web サイト【研究・社会連携】科学研究費助成事業】ページ内に、科研費の応募支援や研究支援に関する情報が掲載されています。

[https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/grantinaid\\_scientific\\_research.html](https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/grantinaid_scientific_research.html)

【ID: kenkyu パスワード : sanken3001】

これからも、科研費申請や研究に関し、情報共有のためメール発信させていただきたいと思っております。気軽にお付き合いいただき、なにかすこしでも先生方のお役に立てればと願っております。今後は2週間に1回の配信を目標に頑張りたいと思っております。

ご不明点、ご意見、ネタなどございましたら、メールで URA 高木敦子まで、お伝えいただけますよう、お願い致します。

厳しい暑さはやっとおさまりましたが、コロナ禍が再燃しているようで、ご健康に留意いただき、ますますのお仕事のご発展を祈念申し上げます。  
今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。  
失礼致します。